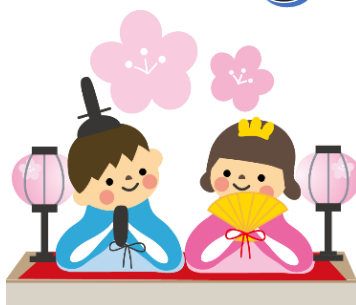


令和 2 年度

ひわき幼稚園だより 2 月号

令和 3 年 2 月 25 日

薩摩川内市立ひわき幼稚園



あいさつの習慣化



園長 上梶 久伸

皆さんのご家庭では、家族同士でのあいさつがしっかりできていますか。「おはよう」、「行ってきます」、「ただいま」、「おやすみ」などなど。

樋脇小のキャッチフレーズは、「花とあいさつ じまんの学校」ですが、私が赴任した 3 年前は、しっかりできているとは言えない状況でした。全校朝会などで「全然、自慢になっていない。自分からすすんであいさつをし、本当に自慢の学校にしよう。」と話したことを思い出します。今は、だいぶよくなってきたと思っています。

ただ、学校ではいいのですが、地域に戻ったときや一人の時は、まだまだのような気がします。ひわき幼稚園はどうかというと、みんなと一緒にいるときはとても元気よく、大きな声であいさつをしてくれます。でも、一人の時は、どうでしょうか・・・

あいさつは、人と人をつなぐ「魔法の言葉」だと思っています。初めて出会った人ともあいさつから始まり、そして会話が弾み、仲良くなっていきます。とても大切だと思うのです。そのあいさつは、やはり家庭での躾の一つ、家庭教育から育まれるものだと思います。家庭でできないことが幼稚園でできるはありますがありません。親子でのあいさつ、会話を増やすことで子どもたちはコミュニケーション能力を高めていきます。そのことが、今後の人生、生活に大きく影響を与えるのです。

今の時期がとても大切ですので、各家庭でもあいさつを習慣化し、明るく、元気なあいさつができる子どもに育てていただきたいと思います。



学校関係者評価結果について

幼稚園、学校は、地域の学校運営協議会委員（10人）の方々に園・学校運営について、毎年評価していただき、さまざまなご意見をいただいています。子どもたちの生活の様子や園の運営のあり方、先生方の取り組む姿勢、施設・環境など11項目で評価していただくものです。

今年度は、全ての項目で3以上（1～4）の高評価をいただきました。これからも子どもたちの安心・安全を第一に考え、楽しい園生活が送れるよう、職員全員で取り組んでいきたいと考えています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。